東郷村報

第83号
昭和33年10月15日
発行所
宮崎県東臼杵郡
東郷村役場
日向市富高
株式会社 安藤印刷所
電話64番

村税について

村では去る九月二十九日議会を招集して、昭和三十二年度会計の決算書及その他の議案を提出して、その承認を受けました。決算の内容は、それぞれ別記の通りでありますが、この中村税は一般会計において、才入総額六千三百八十六万二千円に対して、千八百四十三万千円で二八パーセント、特別会計国民健康保険事業勘定において、才入総額八百六十三万九千円に対して四百四十万八千円で五十一パーセントを占めております。

即ち、昭和三十二年度において、村民の皆さんは、村税として二千二百八十三万九千円を負担したことになります。

本村の世帯数及び人口は大体二千百世帯、一万一千人内外ですから、一世帯当り一万八百七十五円、一人当り二千七十六円の負担になります。

然しこの中には、県営渡川発電所に対して交付される固定資産税と同質の、国有資産等交付金とか、九電等村外大口納税者の固定資産税、たばこ消費税、電気ガス税等、村民の皆さんが直接負担されない村税が約六百万円程ありますから、この額を差し引いた千六百八十三万九千円が実際の負担額になり、一世帯当り八千十八円、一人当り千五百三十円になります。又以上の額は何れも昭和三十二年度中に、納付された負担額でありますがこの外、滞納として本年度に繰り越された未徴収額が四百八十七万二千円程ありますので、この分が年度内に納まつていたら負担額も若干変つてくることになります。

何れにせよ、村財政の三〇パーセント以上は皆さんの直接の負担によつて賄われているわけであります。然も村税は、国県の補助金等のように予め使途を定められた所謂、ヒモ付き財源ではなく、実際に必要な所に、必要な額を重点的に使用出来る村独自の財源ですから村税の持つ価値は五〇パーセントにも八〇パーセントにも当るわけです。

未徴収額の四百八十七万二千円が全部納付されていたら、村民福祉の為どれ程の働きをしていたか、計り知れないものがあつたでしよう。

昭和三十二年度村税は決算において、八十五パーセントの収入率を示し昭和二十四年度以来の成績で、国が要求する全国平均に達しました。このことについては、大部分の納税者の皆さんのなみなみならぬ御協力の賜と深く感謝致している次第であります。

もともと税金は、その人の力に応じて、公平に課税されます。公平に課税された税金は村民福祉の為にのみ使用され平等な権利として還元されるものですから、滞納の整理も公平の原則上村長の義務として法律に定められているのであります。いろいろな事情で滞納されている方々についても、本年度中には必ず完納されるよう強くお願い申し上げます。

議会報告

東郷村議会臨時議会は九月二十九日午前十時村議会議事堂に招集され会期三日間で次の事件を審議決定した。

○議案第二十九号
教育委員会委員の任命について、
本件村教育委員橋口武志氏の任期満了に伴う後任者の詮衡であつて同氏を再任命することに同意議決した。

○議案第三十号
鶴野内門有財産の処分について、
本件鶴野内の門有財産三反九畝一九歩を成願寺に寄贈してあつたが登記未完了のため登記手続の必要により無償贈与をする議案で原案どおり可決確定した。

○議案第三十一号
昭和三十三年三月から五月までの天災による被害農林業者の経営資金借入に対する利子及損失補償の契約について、
本件は日向開拓農協が融資をうける昭和三十三年三月から五月迄の天災による被害農林業者の経営資金の利子及損失補償契約の中本村関係者分についての契約の議案で原案どおり可決確定した。

○認第一号
昭和三十二年度東郷村歳入歳出決算認定について、
本件後日財政白書をもつて公表するが才入六三、八六二、一八五円に対し才出六〇、二三四、六七四円で差引三、六二七、五一一円は翌年度繰越で原案を認定した。

○認第二号
昭和三十二年度東郷村国民健康保険事業勘定特別会計才入才出決算認定について、
本件才入八、六三九、九一〇円に対し才出七、〇六四、三二〇円で差引一、五七五、五九〇円は翌年度繰越で原案を認定した。

○認第三〇号
昭和三十二年度東郷村国民健康保険直営診療所施設勘定特別会計才入才出決算認定について、
本件才入六、八〇五、九〇三円に対し才出六、四〇二、五九四円で差引四〇二、三〇九円翌年度繰越で原案を認定した。

牧水祭風景

九月十七日に牧水祭が盛大に行われた。今年は牧水先生が逝かれて満三十年忌に当るので東京でも牧水祭が二週間の長きにわたつて行われた。

【写真】① 歌碑祭
② 祝賀音楽会
③ 記念講演会
④ 応募短歌をみる人々

来年は選挙の年です!!

今年も九月十五日現在で基本選挙人名簿を調製中であります。御承知のとおり来年の四月には県知事、県議会議員、村長、村議会議員の選挙に引きつゞいて参議院議員の選挙と非常に沢山な選挙が執行されますが実際に選挙権はあつても選挙人名簿に登録されてないと選挙権の行使、つまり投票することができません。村の選挙管理委員会としましては斯様なことのないよう万全を期する為区長さん、組合長さんを通じて目下慎重に之が調査を進めています。

選挙人名簿に登録される者の資格は今次基本選挙人名簿の場合日本国民で本年十二月二十日までに満二十歳以上に達する者で本年九月十五日まで引つゞき三カ月以上本村に住所を有する者、つまり昭和十三年十二月二十一日以前に生れた者で本年六月十六日以前から本村に住所を有している者ということになつています。

勿論欠格事項に触れる人例えば禁治産者、禁こ以上の刑に処せられ執行中の者とか一定の犯罪により公民権を剝脱されている人等は登録できません。以上の人について調査し調製するのでありまして名簿は十月三十一日迄に調製を終り十一月十九日まで五日から十一月十五日間一般の縦覧に供することになつています。

縦覧期間中が同時に異議申立期間となつております、そこで本年は名簿の縦覧場所を役場に指定する外十一月五日から十五日間各区長さん宅に名簿の抄本を送付することに致していますのでその期間中に必ずお互が洩れていないかどうかを区長さん宅で確めるようにして下さい。

尚ここでお願いしたいことは住民登録であります。申請は出されてもこの住民登録がしてないために、**特に本籍が本村にない人**についてでありますが資格要件等に拠るべき処がなくて事務当局としては非常に困つている様な人が相当数あります。選挙権の行使がお互の権利であると同時に住民登録もまた法によつて義務づけられた日本国民の義務であります。

まだ住民登録をしていない人は此の際早目に役場の住民登録係へ登録申請をして下さい。

東郷村選挙管理委員会

小鳥いろいろ

牧水

庭の木に啼けるひたきの美くしくまひあそびつゝ声さびて啼く

聞きをりて笑いぞうかべみそさざいひたきも声のみなあはれなる

啼声をひとつ落してゆきにけり地面するばかりまひゆける鳥は

静けさに啼く鳥きこゆ啼く声にこもれるいのちありがたきかな

農業委員会便り

一、農地の改廃には知事の許可が必要

農地の売買や小作契約等については知事の許可が必要であり、この点は九五パーセント守られているが農地を他の目的に使用を改める場合、たとえば家を建てる又は山や原野にする場合も同様許可が必要であるが、これは殆んど許可手続きが為されていないので県の農業会議がこの違反に対し強力な指導に乗り出す事になつた。この場合指導に応じない場合は罰則の適用も已むを得ないとしているので既に農地の改廃をしている向は勿論今後改廃しようとするものは早急に許可手続きを執られたい。

二、自作農維持資金について

昭和三十三年度の割当三五〇万円に対し借受資格者四十名を選出してその第一回二十名分二〇六万円の申請書類を作成し終えた。

尚残り二十名分は一カ月以内に申請事務を開始予定である。

開拓者に対する維持資金も一般のわく外として一〇〇万円が割当られ現在申請手続中である。

三、自作農貯蓄組合の総会と役員改選は次の通りである。

昭和三十一年に組織した自作農貯蓄組合は二年後の昭和三十三年七月二十八日より八月一日迄に各部落を巡回し支部毎の総会を開催し、貯蓄組合の充実強化と支部長の役員改選を実施した。

続いて八月八日午前九時より小野田公民館に於いて新支部長会を開催し、組合長、副組合長、理事、監事の改選を実施した。

役員は次の通りである。

支部長　羽坂　清水　勘作　鶴ノ内　原田　昇
〃　福瀬　海野　実義　川口　義美
〃　仲深　三浦　道男
〃　坪谷　那須　末吉
〃　小野田　筌瀬　勝己
〃　田野　谷口　久雄
〃　寺迫　野別　速美
監事　福瀬　田辺　清吉
〃　仲瀬　中谷　芳雄
理事　鶴ノ内　渦尾和三郎
〃　福瀬　海野　実義
〃　坪谷　寺原　繁男
副組合長　羽坂　清水　勘作
組合長　小野田　畝原　速美

防犯 派出所だより

山陰部長派出所

◎狩猟法と銃砲刀剣類等所持取締法の一部が改正されました

次に改正された必要な点を七項目あげましたのでお互いに注意し合つて違反者を一人も出さないようにして下さい。

一、狩猟関係

1、狩猟免許は二十才以上でないと受けられない、従つて空気銃でスズメなどを捕るにも二十才以上の者で丙種の狩猟免許を受けなければなりません。

2、狩猟免許の種類が、甲種、乙種、丙種の三種になり
甲種＝銃器以外の方法による狩猟者。
乙種＝銃器（空気銃を除く）使用による狩猟者。
丙種＝空気銃を使用しての狩猟者。

3、狩猟免許を受けようとする者に対し必要な知識の向上を目的として講習会を開きその講習を受けない者で必要な知識のない者には免許を与えないことになつた。

4、免許を受けた者が、関係法令に違反したときは、その免許を取消す事が出来ることとし、その取消後は二年を経たないと免許を受けることが出来ない。

二、銃砲刀剣類等所持取締法関係

1、祭札等の年中行事に用いる刀剣類で一般の風俗慣習上所持することが止むを得ないと認められる刀剣類の所持についても都道府県公安委員会の許可を受けさせてこれを認めることになつた。

2、許可をうけ又は登録をした銃砲刀剣類であつても指定された射撃場で射撃する場合や狩猟する時などのほか、正当な理由がある場合を除いてはこれを携帯し、又は運搬してはならないことになつた。

3、射撃場の指定をうけるには一定の要件を備えて公安委員会に申請し指定を受けるよう手続が定められ、又猟銃や空気銃の製造販売をするところは使用人を公安委員会に届出で使用人には届出済の証明書が交付されることになりました。

更に本年も日時を指定して町村毎に一斉検査を実施しますので猟銃、空気銃の所持者は狩猟免許の有無にかかわらず洩れなく検査を受けて下さい。

◎山陰部長派出所員の異動

十月八日付
渡辺保市巡査（本署より）
福島武臣巡査（本署外勤へ）

秋季 交通安全運動

10.22～10.31

牧水の於もかげ

東京麹町時代

海野実門

△彼の人類愛

〃早稲田〃への通学道程（徒歩）は稍遠かつたが、茲麹町区富士見町の吾らの下宿「常盤館」は靖国神域の森影で閑寂な環境と霊峰富士の景観が気に入つて階上に二人乏しく住みついた。此貧弱な素人下宿の二階は数軒の平家を挾んで、今を時めく日本画壇の巨匠○○○○の豪華な大邸宅の二階と向い合つて、栄落対比の妙を成していた。

画伯に姉妹の令嬢があつた。揃つて瑞々しい容色、優雅な姿態、まこと典型的な美形だつた。稀に階上のベランダに出て富士に眺め入つたり、閑かに読み耽る事もあつた。併し私らの此〃眼の正月〃は滅多に恵まれなかつた。デ牧水の発案で誰か逸早く彼女らを見付けた者が、軽く柏手三つ打つて知らせ合う事にして其信号を「カシ三ツ」と愛称した。

斯くたわいない児戯に興じてる中に、其姉君がフツツリ姿を見せなくなつて余程久しく経つた。と、或夕景に外から帰つた牧水が悲痛な表情で『僕は今、惨ましい姉君のフェアリー姿をかいま見た髪も眉も大方ぬけきつて、顔は赤腫れにむくんで人目を憚り〳〵廊上をよろ〳〵消えて行つた。紛れもない業病レプラだね。ア、可愛想に』と告げ終つてハラハラと眼から光るものをこぼした。

単なる行きずり人にも熱く捧げる憐憫の情―私は此時位、牧水の聖い人類愛に感じた事はなかつた。

其後やがて妹君も相次で同病で倒れ、吾らの「カシ三ツ」と共にパッタリ音を絶えた。

◆「そうですか歌」

江戸時代の著名な歌人香川景樹は、他をシンから感動させぬような平凡な低調歌の事を〃徒事歌〃と称していたが、わが牧水は此種の歌を更に皮肉つて「そうですか歌」と唱へて後進を訓戒していた。其意は―人の心を打たぬ歌というものは仮令へば内容のない無味な話しや〃報告〃をうつろに聞くようなもので空耳を貸し乍ら『ア、そうですか』と簡単に受流すに等しいものだと。

歌は「まこと」なりと解し先づ事物の「真」を捕えよ歌うところは真摯なるべしと力説する彼であつた。

而して自省力の強い牧水は自分の作品を評価するにも甚だ厳正だつた。『オレ自身の詠草にも恥かし乍ら此「ソウデスカ歌」を随分交えているヨ』と、その玉石混入を率直に自認していた。

斯く慢気を払つて、只々研磨精進の一途を辿つたのが斯道大成の一因を為したもの。彼が謙虚な雅懐の一面!!

稲と害虫

稲作の大害をなす害虫には種々あるが、中でも尤も駆除に困難をするのは何んと云つても螟虫といなごであろう。

最近はパラチオン等の良薬が出来て螟虫も完全に駆除出来ると云つて居るけれど出穂後水田を見廻つて歩くと誰の目にも枯穂の多いのに驚かぬ人はなかろうと思います。

一方、松田式農法を取入れ五月二十五日以後でないと苗代田に播種することが出来なかつた当時は稍々枯穂も少くなつていたが、早植水稲をやる様になつて螟虫の被害が一段と多くなつた様にあります。

早期の水稲には枯穂の被害は見受けず、実に立派な出来方でしたが中稲、晩稲に枯穂の多く見られるのは早期栽培をする様になつて、いちじるしく螟虫が多くなつて来た様です。此分にて押進んで行つたら、数年後にはいかにパラチオン等の良農薬をもつてしても中稲、晩稲は殆ど全部といつてよい位に枯穂になつて如何に天候に恵まれた年でも豊作は得て望まれないと私は心配しています。

故に早期水稲を奨励されると同時に螟虫、いなご等の徹底的駆除の御指導を望む次第であります。

福瀬　冠山生

國保便り

家族計画を真剣に考えましよう

肌着一枚買うにしても、靴下一足もとめるにしても選択に選択を重ねて買求める婦人が子供を生むということは、きわめて無計画で自然の成り行きにまかせ、あきらめと云うか、無知と云うか、生れてくる子供が此のきびしい世の中を生きぬいて行かねばならぬ永い将来の事について考えてやろうとせぬ人が多い。

我が国のあらゆる社会的不幸の大きな原因の一つは人口過剰にあるとさえ云われているが子供かふえる、と云うことは自分の一家だけでなく国家的にも社会的にも色々大きな負担をかける。教育をせねばならぬ、汽車や汽船、電車、バス等も無料でのせねばならぬ、官庁や会社等は家族手当を出さねばならぬと云うのに、自分の家庭は子供を何人持つたら良いのかと云う事については少しも考慮をはらおうとせぬのは自分勝手なやり方ではないでせうか、国、県、家庭、いや自らの健康の点から考えても家族計画（受胎調節）と云う事が刻下の急務ではないでしようか。

厚生省の昭和三十年度人口動態調査によれば十六秒毎に赤ん坊が一人生れ四〇秒毎に一人死んで行く割合になつています。

この勘定で行くと一時間に百三十何人、二十四時間で三千三百二十何人、一年間ではなんと百二十一万二千八百九十何人かが文字通り時々、刻々の勢いで狭い日本の領土へ割込んでくる訳だから「ほんとうかい」と計算をうたぐつて見たくもなる、之ぢやあ大変これが五年、十年と積つてきたら考えただけでも呼吸が詰つてくる。

食糧や、住宅が足りないのは当然のこと、就職難、失業、等々ものすごい悲鳴が何処からか聞えてくる様な気がする。こうした人口過剰による生活の不安をのぞくために家族計画正しい受胎調節が必要な訳です、ただ自然にまかせて生れるままに産んだならば先に書いたとおり、私達の経済生活のバランスがとれていないのですから、産む親も苦しまねばなりませんが、親はあきらめるとしても生れた子供が悲惨で不幸な運命につき落されることに思いをめぐらしてやらねばなりません。

東郷村のお母様

御自分の健康を守り明るい幸せな家庭を築いて行く上にも是非共家族計画、受胎調節を早速今日から実行にうつしましよう。

東郷村青年野球を観て

長渡清八

八月二十八日（旧盆十四日）東郷村青年団の野球試合があると云うので、野球狂の私は早朝から夕暮まで一球一打も見落さず昼食もとらず至極熱心に観戦した。

福瀬チームは抽籤の結果小学校のグランド組になつたので私は小学校グランドの三塁側のセンダンの木の下に陣取りました。

第一回戦の福瀬対迫の内Bチームの一戦は18－0のスコアを以て福瀬チームが勝ちました。

第二戦は羽坂－迫の内Aチームでは羽坂チームが勝ちましたので結極羽坂－福瀬の決戦の結果5－2のスコアで福瀬チームが勝抜きましたので優勝戦は中学校グランドで勝ち進んだ小野田チーム－福瀬チームとが決戦することになりました。

その結果

小野田	1	0	0	0	0	0	0	0	1
福瀬	1	0	0	0	3	0	0	1	4

A－8A

夕闇せまりボールの行方も見えぬ様になりましたので残念ながら最後まで試合を続行出来なかつた事は甚だ遺憾でした。それにしても青年諸君が酷暑の候、しかも終日、好ゲームを元気一杯に繰りひろげてくれた実況を観戦した私は思いました。

近頃の青年は非常に真面目になつて来た。そして自費をもつて道具を購つて毎日家業の余暇をさいて野球とか、バレーとかのスポーツ方面に熱を出して来たと云うことは、大変に喜ばしいことである。しかも其の技倆も大変すぐれていて、今春宮崎グランドで観た九州高校野球戦にもそう劣つて居ないと思われました。

それにしても、切角ここまで気乗りして来た青年野球戦に対して村当局は勿論、一般ファンの熱の不足して居る点に対して冠山は暗然として、夕暮家路につきました。

牧水祭についての提唱に答えて

係から

牧水祭の行事について貴重な御提唱をいたゞき深謝いたしています。来年からは出来るだけ御意志に添いたいとは思つていますが第一の問題の献酒ですが毎年一升献酒しています。その内歌碑にそそぎますのは一合か二合でありまして残は歌碑祭に参列した方に少しづついたゞいてもらいますがそれでも毎年五合位は残して牧水先生の姉しづさんにあげることにしています。しづおばあさんはこれを何よりの楽しみとして待つておられるのでこれはしづおばあさんの存命中は今のままの方がよいのではないかと思つています。

第二の問題点の祝賀会のあり方ですが初めは招待した方のみに限定していたのですが参列の村民も一緒に祝賀会をするようにした方がよいのではないか、看は外来の招待客だけで結構村内の者は酒だけでよいからとの声がしきりに起りましたので現在の姿にしたのですが然しこれは将来改むべき点が多くあると係も考えています。漸次改めて行きたいと思つています。

わたしの提唱

今年は牧水逝いて三十年と聞く。

秋冷の尾鈴山麓に於いて関係者多数参列の許に盛大に而かも静粛に故人の徳を慕いその霊を慰める歌碑祭が無事終了した事は御同慶に堪えない。

数年前、某村議員が社会事業に対する村の助成額と牧水歌碑祭に助成する額がほゞ同額である事に憤慨して「歌人牧水が経済的にどれ程本村に貢献したか」の一席をぶつて世論を湿かせた事がある。成程、牧水が本村に及ぼした経済的数字を挙げた記録は未だ知らないが問題は牧水が日本の大詩人に止らず今や世界的詩人として名声が高まりつつある事は郷土人にとつて理くつ抜きに大きな誇りと云えるであろう。

吾々は牧水の人間的詩情に触るる時、何処に住んでいても故郷の美しさと懐しさを終世忘れる事が出来ないのである。

わたしは戦後牧水祭に二回臨む機会を得たがその静粛にして盛大さに頭を打たれるがその中でこれはどうかと考えさせられる事が二ツ程あつていつも気懸りでならない。

第一に歌碑に酒をふり懸ける儀式、第二式終了後参列者を交えた祝賀会の在方についてであるが前者は牧水が酒を好んで呑んだ事に因んだ儀式であろうが何も実物の酒二升を歌碑にかける必要はなかろうと考える事だ。牧水が生きていて悦んでこれを呑む訳でもないから大衆の前で流捨る事はまことに勿体ない話である。

これを全国的にみれば年々何百何斗の酒が捨てられるかと思うと尚更その感が深い。これは飽く迄も儀式であるから盃一杯の神酒を竹しばにでもつけて振りそそいでその後二升のビンに神酒と書いた紙でも貼つて気分を出してふりそそぐばそれで結構であろう、そして実物の酒二升は後で必ず行われる祝賀会に廻したら盞礼廃止が出来て一挙両得ではないか。

次に後者の賀祝会の在方であるがこれは又非民主的な宴会で非常に不快千萬である。先方からみえた歌人にゆかりのある方は上席で部落民が区長以下百数十人居並んで歌人を偲びつつ酒くみ交すわけであるが、この内、上座の二十人位のお客に並べられたさかなと部落民に並べたさかなに甚だしい差別があると云う小さい事であるが、人種の差別をしている処におさまらない不快の虫が酒が進むにつれて不平となつて飛び出すので始末が悪いのである。

これは成程明朗を欠くと思うので最初は差別をつけないところで一様にナマスをつついて軽くやり特別に歓待の必要があれば二次会でも設けて別座でやられた方が礼にかなつているようである。

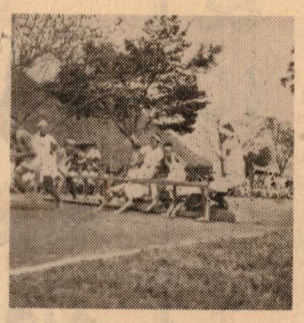
終戦後十年今年の牧水祭も相変る事なく右へならえで行われる事は寂しい。

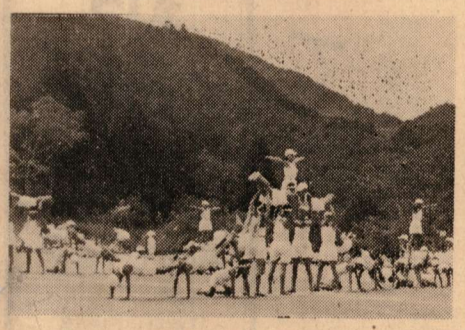
わたしは小さい問題から一つ〳〵改め本当に立派な明るい歌碑祭に盛り上げて貰いたい一念に外ならない次第である。

（栄楽生）

運動会風景

九月下旬から十月上旬にかけて小中学校、青年団、婦人会、部落、などの運動会がにぎやかに開かれて父兄や村人達は楽しい一日を送つた。





『写真』①小学生の障碍物競走　②中学生のタンプリング　③部落運動会（鶴の内）④観覧中の老人をいたわる村長

編集後記

◆　くさむらにしだく虫のねがようやく老いる頃になると山裾の段々畑にソバの花が真白に咲きモズのかん高き鳴きねがきかれて稔の秋が訪ずれる。

今年は打ち続いた日照りのため用水に不足の田圃は乏しい稔の姿である。台風禍のない年は早魃禍と天候は誠に思うように行かないものだ。

だから遠い慮もお互の生活に大事なことがらとなるわけである。

◆　九月下旬から十月上旬にかけて村内中小学校や青年団、婦人会などの運動会が盛会裡に行われたことはよろこばしいことであるが、見物人の中にはやはり物見遊山的な気分の者も少くないように見受けられる。特に中小学校の運動会は教育の一環として行われるのであるから観覧する父兄の態度も自らそうした気持がありたいものである。

◆　十月号をおくる御一読を乞う。

行く秋や大根畠に鳴く雀